

(地域活性化は高齢者パワーで) 前面より続く

パワーと言えば、高齢者パワーで地域活性化に成功した事例がございますので、この機会にご紹介したいと存じます。それは徳島県上勝町の彩いろどり事業です。この町は人口二千人余、高齢化率が5割弱の(当地区31%・高知県27%・全国22%)過疎と高齢化が同時進行している町です。しかしながら、元気な町(寝たきりのお年寄りは2人だけだそうです)として全国に知られています。

この事業は、町の半数が高齢者という状況にあつて、昭和61年、当時JAの職員であつた横石知二氏が大阪出張の際、料亭



で小枝が「つまもの」として重宝されていることに気付き、町のお年寄りにあつた商品というものは何かを考えていた彼は葉っぱの商品価値に目をつけたのです。「軽い・美しい・お金になる」産業という、キャッチフレーズを掲げ、紅葉、椿の葉、梅、桜、桃の花など上勝町の自然の中にあるものを料理の「つまもの」として使われる材料を販売する事業を立上げました。



現在では三百種類もの花や葉っぱを、全国へ年間2億5千万円の規模で出荷しています。高齢者でも容易に扱ふことができ

るパソコンを導入、現在では約200名(高齢者のうち、5人に1人)が参加する町の一大事業に成長し、「健康にもつながる」「孫にも小遣いがあげられる」「四季折々の美しさが感じられる」と町の高齢者や女性達にとつてこの仕事は最高のものになつていくようです。この事業の成功要因は地域のお年寄りに生産者(出荷者)になつてもらう事によりお年寄りの「生きがい」を創出したことです。この例はほんの一部で高齢者の元

気な地域ほど活性化がはかられているようです。当岩村地区には、戦後の苦しい時期を乗り越えられ、今日の豊かな時代の礎となつていただきましたすばらしい方が大勢いらつしやいますし、ネギ、ニラの栽培が盛んで(ねぎ剥ぎ・ニラのそぐり作業は呆け防止)健康、お金になる)文化施設ふれあいセンター(趣味の構築)等もございます。これらの資源をご活用頂いて、これまでの人生のノウハウを若い世代にご教示いただければ、より「生きがい」が感じられ、上勝町をしのぐ元氣な地区になると確信します。最近の子供の非行等これからの日本(地域)を担う子供達が危

うくなってきています。学校、家庭だけではなかなか対応が難しくなつてきており、人生の先輩である皆様のお力で地域の子供たちを見守つていただければ、更なる地域向上が図られると存じます。

お願いばかり申し上げましたが、今年もお仲間をお誘いの上、お元気でご出席頂き、わたしたちにパワーをいただきますようお願いします。

岩村公民館にAED(自動体外除細動器)設置



九月に設置されたAEDの使用説明会が生涯学習課により十一月十二日に行われ、二十余名の方が参加し使用方法を教わりましたが、むずかしくて一度の講習で十分使いこなせるか疑問です。この機器は万一の場合に救急隊が到着するまでの応急措置を行うものです。使用しなくてもよいように日頃から健康には注意しましょう。(公民館より)